

第 21 期第 3 四半期業績のご報告 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

平成 29 年 6 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかな回復基調にあるものの、米国新政権の政策動向による影響や英国のEU離脱問題、新興国の景気後退など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、都市部を中心としたマンション・戸建て住宅建築増加の波を受け、一部の駐車場で解約の影響を受けることとなりましたが、慢性的な駐車場不足及び景気の回復基調を背景に、駐車場の利用は増加傾向にあります。

このような環境のもと、CPシステム運営事業においては、積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開発を進めました。既存駐車場においては、駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施して収益力の向上に努めて参りました。その結果、売上高 737,019 千円(前年同期比 102%)となりました。CPシステム販売事業においては、運営会社様の開発計画が増加傾向で継続したこと及びコンサルティングセールスの推進により堅調に推移致しましたが、電気自動車用の充電スタンドに対する補助金の縮小の影響により充電スタンドの販売数が減少しました。その結果、売上高 750,863 千円(前年同期比 92%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、物件の稼働率の向上に努めた結果、売上高 62,296 千円(前年同期比 103%)となりました。

以上の結果、当四半期における売上高は 1,553,197 千円(前年同期比 97%)となりました。

事業区別	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	737,019千円	102%
CPシステム販売管理事業	750,863千円	92%
プロパティマネジメント事業	62,296千円	103%
その他	3,018千円	117%
計	1,553,197千円	97%